

平成23年11月第13回教育委員会定例会

【日 時】平成23年11月29日(火)午後3時30分～午後5時40分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第2・3会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長、西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、齋尾委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・10月30日三朝町三徳山神事への出席(町長代理)について
- ・11月9日中小研発表についてについて
- ・11月10日全国B&G活性化会議について
- ・11月16日北条小学校及び大栄小学校教員の授業参観について
- ・12月期期末勤勉手当の査定決定通知について

(質問)Cランクはだれが決めるのか。

(回答)6・12月のボーナスは評価を反映させることとしている。項目に基づき評価する。絶対評価ではなく、個人を評価する。点数に基づき県教委が線引きしランクを決定する。

(質問)管理職が評価するのか。教員自身が評価するのか。

(回答)校長は教育長、教頭は校長、教諭は教頭が評価する。

教育総務課長

- ・学校行事について
- ・11月11日、28日学校後期計画訪問について

生涯学習課長

- ・人権同和教育小地域懇談会の実施結果について
- ・北栄町図書館まつりにについて
- ・第7回北栄美術展について

(質問)美術展は運営委員がいるのか。

(回答)実行委員がいる。

(質問)実行委員が運営しているのか。

(回答)事務局が中心となり、実行委員とともに運営している。

(意見)いざやってみたいという時に話をする窓口が見えてこないのだから参加できないのではないか。

- (意見) 各部門ごとに窓口を設けてはどうか。
- (意見) 参加者を増やしたいとあるが、取り組みが出来ていないのではないか。
- (回答) 文化団体と相談したい。
- (意見) 作品を出すのに作品の出来、レベルから遠慮される場合がある可能性がある。
- (意見) いい作品が多く出されている。そういった意味では言い美術展となっている。
- (意見) 興味がある時に相談を受け、参加者拡大の取り組みにつなげればいいのか。
- (意見) 一方では文化団体の向上の側面もある。
- ・子育て学習講座の開催について
 - ・第2回社会教育委員会兼公民館運営審議会について
 - ・第6回北栄町駅伝競走大会について
 - ・北栄てくてくウォーキングについて
 - ・平成23年度北栄町大栄地区・北条地区女子バレーボール大会について
- (質問) 北条地区男子バレーボール大会はいつ実施されるのか。
- (回答) 後日実施される。運営の問題があり日にちを変えている。
- (質問) 北栄町全体での実施は難しいのか。
- (回答) 他の種目は頭語され一本化してきている。今後一本化していくべきと考えている。
- ・12月の行事について
 - ・工事等の発注について

3 議事

議案第74号 区域外就学について

- (意見) 議案の理由欄は文章となるように記入すること。的確に理由がわかるように記入すること。また、規則の適用についてを記載すべきである。申し立ては申し立て、提案は内容をとらえて文章化すること。
- (質問) いじめの判断チェックはどのようにするのか。
- (質問) 先の学校のことを聞き取りすることが出来るのか。
- (意見) 指導要録に記入してあるのではないか。
- (回答) いじめは書いていない。
- (質問) 客観的な使用で判断できるのか。
- (回答) 学校での状況、申し立て者の聞きとった内容を参考としながら判断することとなる。

原案のとおり承認。

議案第75号 区域外就学について

原案のとおり承認。

議案第76号 校区外就学について

原案のとおり承認。

議案第77号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について

(質問) 今回提案のあった方はどのような方か。

(回答) 民生委員、更生保護委員をやっておられる方。民生委員をやっていても特に問題はない。

原案のとおり承認。

4 協議事項

・平成24年度全国学力・学習状況調査について

(説明) 4月12日(火)実施。新規に理科実施。費用負担は県。平成25年度悉皆によりすべての市町村が実施。平成24年度の抽出校は発表されていない。

(質問) 校長の意向はどうか。

(回答) 理科も新しく追加される。その都度話し合いをすることとしている。

(質問) 費用はつづのか。

(回答) 処理費用は県で負担する。

(意見) 効果的な時期に出来るテストを実施すればいいのではないか。

(回答) 小学校は1年間の成果。中学校は実力を図る。

(質問) 学校としてはどう考えているのか。

(意見) 校長会で検討してもらい、その意見を受け再度協議することとしたい。

5 報告事項

・中学校保健体育「武道」の取り扱いについて

(説明) 前回の協議を受け教育課程は校長が作成する旨町長に報告を行った。町長は学校が協議のうえ作成したもので良いではないかとの見解であった。今後、町長、委員会、学校それぞれの協議をまとめ最終的に議会へ報告する。最終的には柔道と剣道の優劣の議論となり判断は難しい。

(質問) スムースな移行とはどういうことか。

(回答) 過去に柔道をやっていた経過があることから今回の教育課程の見直しについてはスムーズな移行ができるということ。

(意見) 最終的には指導者の問題となるのではないか。

(回答) 県教委スポーツ健康推進課も教育課程の変更からチラシ配布、研修会を行っている。

(意見) 勝利的には道具がそろえば剣道も可能となる。継続して柔道ということではないと思う。いつ切り替えるかも問題となる。

(回答) 教育課程の見直しの際に変更協議することとなると考える。今回は最

最終的に校長が決定するということが決め手となった。

(結論)このことを委員会の意向とする。

- ・平成23年度後期北栄町立幼稚園・小・中学校同日公開参観日のまとめについて
 - (質問)アンケートを活かした取り組みは今後の取り組みとして行っていくと受け取っていいのか。
 - (回答)その通りである。
 - (質問)委員会としての助言・手助けは必要ないのか。
 - (回答)学校で行っているので、特にはいいのではないのか。
 - (意見)アンケート結果を受けて委員会が学校に返してはどうか。
 - (回答)北栄町は校長が公開しているものととらえている。まとめができたときには部分部分を見て返すこととしたい。そういったことで委員会としてもかかわっていく。
- ・平成23年12月北栄町議会定例会の日程等について
- ・町内小・中学校PTAからの陳情及び要望について
- ・計画訪問について
 - (意見)教員の生の声を聞きたいが、校長、教頭がその場で答えていて場が意図しないものとなってしまっていた。
 - (回答)校長・教頭の管理意識がそれぞれにあるが、委員会としても意に沿う形の訪問としていきたい。
- ・学校支援ボランティア事業について
 - (質問)県教委の経費な支援は団体に交付されるのか。
 - (回答)コーディネーターに対する経費である。学校で精査して見ることとしている。
- ・少人数学級について
 - (説明)県は今回改めて35人の基準を示してきた。町は33人として選考してやってきたが、今回の県方針を受け35人としてはどうかと考え検討している。
- ・町事業仕分けについて
 - (質問)図書館運営事業は全般を対象としているのか。
 - (回答)北条分室のみを対象としている。これは第1回から出ている事業項目である。

6 その他

- ・次回教育委員会 定例会 12月22日(木)午後1時30分予定